

平成30年度 第2回 東松島市復興まちづくり計画市民委員会 【開催概要】

平成30年9月6日（木）19時より、東松島市役所本庁舎202会議室において、市民委員15名およびアドバイザー企業6社が出席し、平成30年度第2回東松島市復興まちづくり計画市民委員会が開催されました。

【内容】

1. 意見交換
～平成29年度東松島市人口ビジョン・総合戦略実施事業について～
2. その他 今後の予定について



■意見交換 ～平成29年度東松島市人口ビジョン・総合戦略実施事業について～

第1回市民委員会に引き続き、平成29年度に実施した「東松島市人口ビジョン・総合戦略」に基づく事業について、市の担当職員を交え、委員がポスターセッション形式で意見交換を行いました。今回の委員会では、「DMOによる観光広域連携」、「結婚・定住促進事業」、「地域おこし協力隊設置事業」の3事業について、これまでの実施状況や現状・課題、市で実施した内部評価について、市民からの目線で意見を出し合いました。

◇平成29年度東松島市人口ビジョン・総合戦略実施事業について（一部意見を要約）

- ・サイクルツーリズムは、「ツールド東北」開催にとどまらず、通年で観光客の増加につなげるよう、工夫していくことが大切。自転車道の整備など、安全面にも配慮が求められる。
- ・広域圏での観光振興は、石巻圏だけではなく、松島町との連携も強めれば効果的なのではないか。
- ・昔なら民間でやるのが当たり前だった婚活イベントを、今は行政がやるようになったとは、時代の流れを感じる。定員を超える申し込みがあり、カップル成立率も高いようで評価できるが、結婚後も本市に定住してもらえるよう、子育て環境なども充実させる必要がある。
- ・地域おこし協力隊の活動内容が市民に知られていない。地域力の強化のためには、地域全体を巻き込んだ仕掛けづくりが求められる。
- ・地域おこし協力隊の方が任期終了後に本市に定住できるよう、起業や就業に向けた継続的なサポートを。



※詳細は、別紙会議記録をご確認ください。

作成：東松島市復興まちづくり計画市民委員会事務局